

あいち農産物生産流通レポート

平成26年1月号

情報サロン		
・「あいちの茶」のファンを増やそう（イベントでのPR）	（園芸農産課）	1
地域トピックス		
・“花半島事業フラワーフェスティバルin大府”が開催されました	（知多農林水産事務所）	2
東日本情報		
・第1回6次産業化推進シンポジウムが盛大におこなわれました	（東京事務所）	3
西日本情報		
・小麦新品種「きぬあかり」の普及推進の取組について	（園芸農産課）	5
フラワーページ		
・花いけバトル	（東京事務所）	7
青果		
・愛知産青果物の動向（名古屋・東京市場）		8
・名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の1月の見通し（県内市場）		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績（2013年10月）		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

「あいちの茶」のファンを増やそう（イベントでのPR）

愛知県では、平成23年3月に第6次愛知県茶業振興計画を策定し、新たな視点として消費面における振興策を加え、茶を取り巻く様々な業界の方たちと連携することにより、「あいちの茶」の消費拡大に取り組んでいます。今年度の主な取組について紹介します。

1 陶磁器関係イベントでのPR

お茶の消費拡大には、急須、抹茶茶碗等の陶磁器業界との連携が重要と考え、8月24、25日に常滑競艇場で開催された「常滑焼まつり」、11月15～20日にナゴヤドームで開催された「やきものワールド2013」で試飲等を行うことにより、「あいちの茶」をPRしました。陶磁器に関心のある方は、お茶への関心も高く、「あいちの茶」を十分にPRすることができました。



やきものワールド2013でのPR

2 あいちの茶交流会（8月30日）

茶販売業者や日本茶の普及活動等を行っている日本茶インストラクター等と交流を深めるために、昨年度から「あいちの茶交流会」を開催しています。日本茶インストラクターの方々は、お茶の淹れ方教室等で「あいちの茶」を紹介していただいております。茶PRの良きパートナーとなっています。

さらに、今年度は食品・飲料メーカー4社の商品開発担当者の参加を得て、新商品の提案等、意見交換を行いました。今後は、多くの企業等との交流を深めて「あいちの茶」を利用した商品開発が進むことを期待しています。

3 愛知県茶会（10月13日）

お茶の消費の拡大及びお茶の文化の振興を図るため、県の主催による茶会を開催し、210名が参加しました。「あいちの茶」PR展示等も行い、その様子をマスコミに報道していただくことで、広く県民に対して、県産茶の知名度向上、お茶の文化の浸透を図ることができました。



愛知県茶会の様子

4 紅茶専門店との連携

県内のせん茶産地では、最近、紅茶の生産が増加しています。「紅茶のおいしい店日本一」で町おこしをしている尾張旭市の紅茶専門店に協力していただき、「あいちの紅茶」の品質評価会や生産者の紅茶生産技術研修会等で、交流を深めています。さらに、11月30日に同市で開催されました「紅茶フェスティバル」に参加し、「あいちの紅茶」をPRしました。来場者は紅茶好きの方が多く、交流の中で頂いた意見は大変参考になりました。

“花半島事業フラワーフェスティバル in 大府”が開催されました

平成25年12月14日(土)、15日(日)の2日間、大府市勤労文化会館において、「2013花半島事業フラワーフェスティバル in 大府」が開催されました。

このフェスティバルは、JAあいち知多花半島事業構想を具体化した事業として開催されており、今回で7回目となります。

会場には、開催地の大府市を始め知多半島5市5町が各々、地元で生産されている花をメインに特産品や地元の名所施設、キャラクターなどと組み合わせて、綺麗にディスプレイを施したブースを出展していました。



開会式 浅田実行委員長あいさつ



開催地 大府市ブース

また、期間中は、先着700人の来場者にミニバラやシクラメンのポット苗のプレゼント、ミニリース作り体験教室を行うなど、会場において「花いっぱい運動」を啓発することができ、併せて花きの即売や農産物の直売も行われ、多くの来場者を楽しませていました。

浅田好弘実行委員長の「より多くの方に知多半島の花を知っていただきたい。」と開会式でのあいさつでも述べられたように、2日間で4,800人ほどの来場者に、知多半島が「花いっぱい運動」の推進の場であることを大いにPRしていました。



農の生け花

【JAあいち知多花半島事業構想】

花半島事業推進本部(事務局: JAあいち知多生活部、平成16年度設置)が中心となり、「知多半島をより一層快適な空間にしていくために、四季を通じて花の咲き乱れる地域を目指し、同時に、愛知県有数の花の産地である知多半島のイメージアップと、これらを通じて知多半島の農業振興・地域振興に寄与する」ことを目的に、知多半島5市5町及びJAの助成により運営。

第1回 6次産業化推進シンポジウムが 盛大におこなわれました

2013年も残りわずかとなった12月18日(水)に品川駅東口の東京コンファレンスセンター品川に於きまして、6次産業化ネットワーク活動全国推進事業の一環で「第1回 6次産業化推進シンポジウム」が野村アグリプランニング&アドバイサリー株式会社の主催で開催されましたので紹介します。



会場の様子(広い会場)

「シンポジウムの概要」

このイベントは、農林漁業事業者、農業法人、JA、民間企業や6次産業化プランナー等の皆様に、6次産業化推進の必要性を再度、考えていただき6次産業化の取組みを加速化してもらうことを主な目的とし、農林水産省の助成事業として主催者である「野村アグリプランニング&アドバイサリー株式会社」において実施されました。この会社は野村証券グループで、「アグリビジネスを軸とした地域活性化を通じて、日本経済の発展に貢献する」との理念の下、2010年9月に設立したばかりの企業で、社長のあいさつの中では、「野村グループのネットワークに加え、専門家の方々からの知恵をお借りし、農林漁業者や事業会社、地域金融機関、地方自治体の皆様との連携を深めながら、農業に関するお手伝いができればと考えている。」とのことでした。

農林水産省、江藤副大臣からも「国としても6次産業化の推進に力を注いでいく旨のあいさつがありました。広い会場には、約400人の参加がありました。

「6次産業化への取組優良事例の表彰」
いち早く、6次産業化に取り組んだ、全国各地の優良事例の中から、農林水産

< 表彰者 >

農林水産大臣賞
こと京都株式会社(京都)

食料産業局長賞
株式会社庄内こめ工房(山形)
有限会社ひよこカンパニー(鳥取)
馬路村農業協同組合(高知)
株式会社ココファーム(熊本)
あしきた農業協同組合(熊本)

大臣賞には、「九条ねぎ」を柱にしての加工販売を手掛ける「こと京都株式会社」をはじめ、食料産業局長賞に5団体（表参照）が選ばれました。

また、審査委員長の東京大学大学院農学生命科学研究所の本間教授から選出理由などの講評がありました。

「パネルディスカッション」

「6次産業による農林漁業の成長産業化へ向けて」と題して、今回受賞団体の代表者とコーディネーター（野村アグリプランニング&アドバイサリー株式会社西澤社長）によるパネルディスカッションが行われ、各団体の6次産業化への取組状況等についての報告がありました。

「受賞者による商品紹介ブース」

シンポジウム会場横のロビーでは、受賞者の6次産業による開発商品（加工品など）の展示ブースが設けられ、来場者へ試食、試飲等が行われていました。

本シンポジウムを通じて、農林漁業者や事業会社、農業法人、JA、民間企業、金融機関や6次産業化プランナーに6次産業化推進の必要性を再度考える機会になったのではないかと思います。



受賞者による商品紹介ブース

小麦新品種「きぬあかり」の普及推進の取組について

作付状況等について

愛知県農業総合試験場が開発した“たくさん獲れて、おいしい日本麺ができる”小麦新品種「きぬあかり」は、平成23年に品種登録され、平成24年から生産者による一般生産が開始されています。

平成25年において「きぬあかり」は、愛知県内で585ha作付けされました。その平均収量は550kg/10aと他の小麦品種と比較して大幅に多収であったほか、コシのある麺を作る上で重要なタンパク質含有率が平成24年産に対し向上するなど、品質・収量ともに良好な結果となりました。

愛知県では、「きぬあかり」を小麦の主力品種として位置づけ、その作付けを拡大していきます。平成30年には、愛知県産小麦のほとんどが「きぬあかり」となる見込みです。

本年度の普及推進の取組について

このような状況において、愛知県では「きぬあかり」を「あいちブランド」として普及推進し、地産地消を進めるため、県内のうどん・きしめんに係る関係機関・団体を構成員として、平成25年7月に「小麦『きぬあかり』普及推進プロジェクトチーム」を設置し、その取組を進めています。

本プロジェクトチームによる平成25年度の取組状況は以下のとおりです。

1 シンボルマークの作成・運用

7月にシンボルマークのデザインを決定。9月に商標登録出願するとともに、「愛知県産小麦『きぬあかり』シンボルマークの使用に係る要領」を制定し、運用を開始。

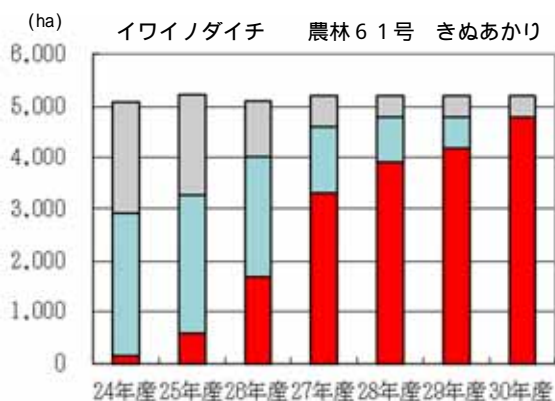
現在、13事業者から使用申請があり、商品包装等に活用中（1月6日現在）。

▼平成25年度愛知県産小麦の単収比較

品種名	単収
きぬあかり	550 kg/10a
農林61号	319 kg/10a
イワイノダイチ	446 kg/10a

出典：JA あいち経済連資料

▼愛知県産小麦の作付計画



出典：愛知県表民間流通地方連絡協議会資料

▼プロジェクトチームの構成員

- ・愛知県経済農業協同組合連合会米穀部農産販売課
- ・愛知県製粉協会
- ・愛知県製麺工業協同組合
- ・名古屋市製麺協同組合
- ・愛知県麺類食堂生活衛生同業組合
- ・愛知県きしめん普及委員会
- ・NPO食・尾張プロジェクト
- ・愛知県農業総合試験場
- ・愛知県農林水産部園芸農産課

▼「きぬあかり」シンボルマーク



2 WEBでのPR

「きぬあかり」の品種特性及びシンボルマークの紹介等を行う「『きぬあかり』ホームページ」を作成。11月から運用開始。ホームページの運用と同時に、フェイスブックにアカウントを開設。

3 “熱烈なファン”ブースターの募集・登録

「きぬあかり」の“熱烈なファン”を「『きぬあかり』ブースター」と呼び、ブースターによる自発的な情報発信を促すため、「『きぬあかり』ブースター募集・登録要領」を制定して、11月からホームページ上で募集・登録を開始。

登録したブースターに対しては、電子メールで“ブースター通信”を発信。また、事業者ブースターをホームページで紹介。

4 「きぬあかり」小麦粉による試作の実施

「きぬあかり」小麦粉の特性を把握し、その利用を促進するため、製麺業者・手打ちうどん・きしめん店等23事業者に「きぬあかり」小麦粉を提供し、試作を実施中。

5 PRグッズの作成

PRグッズとして、のぼり、はっぴを作成。「外食産業フェア」等のイベントで活用。今後もイベント等で活用される予定。

今後の普及推進の取組について

平成26年度のプロジェクト活動においては、平成25年度の取組で作成したシンボルマークやブースター、PRグッズ等を活用しながら「きぬあかり」の一層の普及推進を図っていく予定です。

皆様方におきましても、右のホームページからブースター登録していただき、その“熱烈なファン”として、愛知の小麦「きぬあかり」のうどん・きしめんをどんどん食べて、応援していただければ幸いです。

▼「きぬあかり」フェイスブック



▼ブースター登録事業者（1月6日現在）

登録番号	名称
0001	株式会社 秋田製麺所
0002	布袋食糧株式会社
0003	尾張製粉株式会社
0004	杉浦製粉株式会社
0005	有限会社 桔梗屋食品
0006	豊橋養鶏農業協同組合
0007	ナゴヤ食品株式会社
0008	セントラル製粉株式会社

▼イベントで活用される「きぬあかり」PRグッズ



▼ホームページ等のアドレス

「きぬあかり」ホームページ

<http://www.pref.aichi.jp/engei/kinuakari/>

「きぬあかり」フェイスブック

<https://www.facebook.com/aichi.kinuakari>

花いけバトル

生け花の異種格闘技とも言える「花いけバトル」をご存じでしょうか？流派の異なる花道家やフローリスト、フラワーデザイナーがバトラーとなり同じ条件で、観客の前で制限時間内に同じ花材を使って花いけを行い、より観客を魅了させたバトラーが勝つという花を使ったエンターテイメントです。数年前から花いけのライブイベントとして行われており、昨年は6ラウンドの開催で、それぞれの優勝者を集めた中でグランドチャンピオン大会を行うなど、業界内では話題になっています。今年も5ラウンドが行われ、12月1日はサンシャインシティでスピンオフ大会が、12月9日には、白金の「八芳園」で”花いけバトルGP2013”が行われるなど盛り上がっています。

サンシャインシティ大会の様子

8人の花道家、フラワーデザイナー等が、バトラーとなり、5分間の制限時間で用意された花材を使って、花いけバトルが行われました。審査は一般の来場者先着100名によって行われ、自分がいいと思った赤青どちらかの札を上げ、より多くの観客を魅了したバトラーが勝ち上がるトーナメントで行われました。決勝戦は花道家の上野雄次氏とフローリストの宮永英之氏が対戦し、上野氏が小差で観客の心をつかみ取りました。

花の魅力のアピール

この花を使ったエンターテイメントは、花の魅力アピールする優れたイベントであるとともに、たった5分で見事な作品を生み出す芸術性を兼ね備えており、花の魅力を伝えるには、大変興味深いイベントだと思われれます。また、このイベントで使った花材は、その場でバトラーとなった一流のアーティスト達によりアレンジメントフラワーとして低価格で販売され、魅力たっぷりでした。



8人のバトラーが参戦



観客が赤青の札を上げてジャッジ



わずか5分で素晴らしい作品が！

愛知産青果物の動向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：小松菜）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	166	81 (49%)	567	522	岐阜 (30%) 茨城 (7%) 静岡 (5%)
26年見通し	170	-	500	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県内の主な産地は大治町、あま市（旧甚目寺町）、安城市。気温は低めの予想で、露地作は台風もあったが、生育は前年よりは順調。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>愛知、岐阜は生産者の高齢化に伴う作付面積の減少により、出荷量は減少傾向にある。茨城は比較的年齢層は若い。 葉菜類ではほうれん草の人気の高いが、小松菜も栄養価が非常に高いことをアピールしていくことが重要。 原油価格の高騰などにより費用がかさむが、値段は大きく変わらないため、生産者の持ち出しが増える一方である。産地の維持をどのように行っていくかが課題である。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：セルリー）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
25年実績	812	129 (16%)	278	281	静岡 (53%) 福岡 (14%) 茨城 (7%)
26年見通し	770	120 -	250	260 -	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>静岡が入荷の5割以上を占め、福岡、愛知がそれに続く。静岡では作付面積はやや減少している。生育については、各産地ともに概ね順調に推移している。入荷量は前年をやや下回り、価格は高値の前年をかなり下回る見込み。</p>			<p>適期収穫や温度管理による品質保持を徹底して行われており、愛知産の形状、品質に問題はない。日量格差のない安定した出荷が望まれる。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の1月の見通し

名古屋市中央卸売市場

12月13日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%) (愛知産比率)			
				上旬	中旬	下旬	
野菜計	21年	32,356	186	218	172	181	愛知 28%
	22年	32,270	210	231	200	204	北海道 24%
	23年	29,155	221	235	218	215	茨城 7%
	24年	30,335	232	329	221	220	静岡 5%
	25年	30,996	226	277	221	204	
	5ヵ年平均	31,022	215	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	28,800	235	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道からの入荷が中心となる。台風や干ばつの影響で生育が良くないものがある。今後は冷え込みの影響が着色や玉の肥大に影響してくる。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
だいこん	21年	2,103	69	60	70	74	静岡 43%
	22年	1,707	76	82	75	74	徳島 17%
	23年	1,855	62	53	57	70	鹿児島 13%
	24年	1,998	83	95	79	84	愛知 9%
	25年	1,716	99	112	99	93	
	5ヵ年平均	1,876	77	80	76	79	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,750	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
静岡を中心に、鹿児島、徳島、愛知等から入荷。静岡は9月の台風により、やや生育不良。冷え込みがこのまま続けば、小玉中心(L, M)の出荷となる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	21年	2,325	104	108	106	101	愛知 81%
	22年	2,098	79	89	80	73	鹿児島 9%
	23年	2,066	114	114	109	120	熊本 3%
	24年	1,932	117	129	122	112	北海道 3%
	25年	2,094	117	127	121	115	
	5ヵ年平均	2,103	106	113	107	104	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,000	123	130	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知を中心に、若干鹿児島からも入荷。愛知は生育が遅れており、年内の出荷は少なく、年明けに増加する見込み。9月、10月の台風の影響で品質は悪い。千葉は品薄状態で、例年より高値の販売で推移する見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

12月20日現在

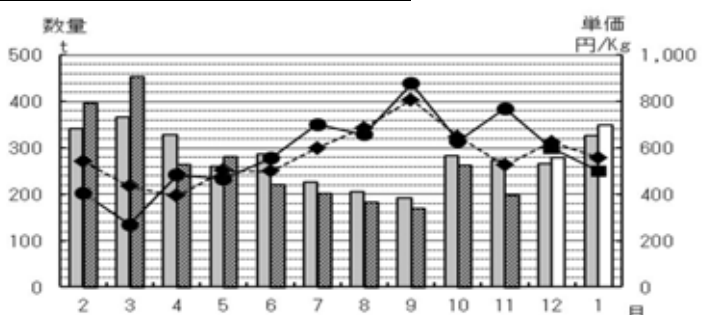
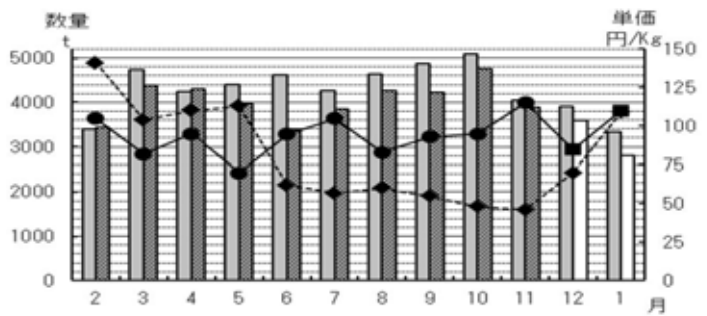
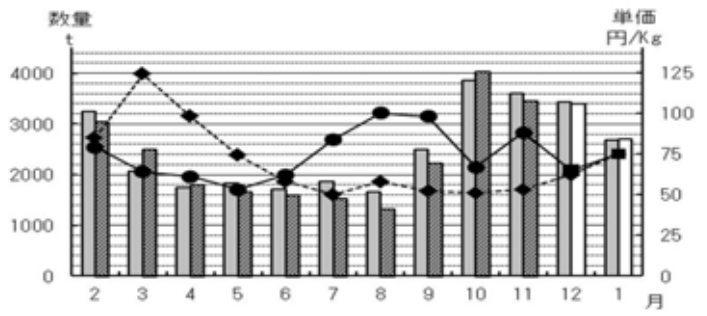
単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	21年	124,017	226	242	215	222	千葉 17%
	22年	117,517	236	246	226	237	茨城 15%
	23年	116,467	228	238	220	231	北海道 12%
	24年	116,831	248	287	228	243	愛知 10%
	25年	118,040	256	296	248	236	(愛知産比率 10%)
	5ヵ年平均	118,574	239	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	118,000	245	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
前月に引き続き関東産地からの入荷が中心で、土物類は北海道からの入荷となる。土物類はたまねぎが不作傾向。年内の寒波等の影響での高値推移から年末にきて高値疲れが出てきている。 入荷量は少なかった前年並の見込みで、価格は前年をやや下回る見込み。							
だいこん	21年	12,908	67	57	67	76	神奈川 55%
	22年	12,282	81	84	77	81	千葉 34%
	23年	12,791	59	54	53	67	徳島 5%
	24年	12,274	90	88	85	95	鹿児島 2%
	25年	12,809	105	116	102	100	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,613	80	80	77	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	12,200	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
関東産地からの入荷が中心となる。神奈川は現状、乾燥と低温の影響で生育遅れが見られる。千葉も同様に低温の影響で生育停滞気味である。この傾向は年明けも続く見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。							
にんじん	21年	7,000	114	119	115	111	千葉 78%
	22年	7,490	77	86	78	73	埼玉 6%
	23年	6,617	138	142	138	139	茨城 4%
	24年	6,744	106	112	105	104	鹿児島 3%
	25年	6,307	137	137	136	139	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,832	113	119	114	113	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	6,100	145	155	145	135	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉を中心に関東産地からの入荷となる。千葉は台風の影響が残り不作傾向、埼玉は小ぶりだが生育は良好。総体では千葉の不作傾向の影響を受ける。 入荷量は前年をやや下回る見込みである。価格については前年をやや上回る見込み。							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	3,073	74	69	78	茨城 42% 愛知 36% 宮崎 10%	
	22年	2,430	61	61	61		
	23年	2,718	61	59	61		
	24年	2,660	70	65	77		
	25年	2,691	75	88	70		
	5ヵ年平均	2,714	68	72	66	70	
26年見通し	2,700	75	80	75	70	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、茨城からの入荷が中心となり、その他は加工需要の産地。数量はそれほど多くはないが、加工需要が割合あるため、価格的には高めで推移する見込み。 入荷量、価格とも前年並みの見込み。</p>					
愛知、茨城からの入荷が中心となり、その他は加工需要の産地。数量はそれほど多くはないが、加工需要が割合あるため、価格的には高めで推移する見込み。 入荷量、価格とも前年並みの見込み。							
キャベツ	21年	2,805	119	120	118	愛知 96% 茨城 2% 鹿児島 2%	
	22年	2,491	92	92	105		
	23年	2,518	101	104	110		
	24年	2,981	128	131	117		
	25年	3,336	109	108	114		
	5ヵ年平均	2,826	111	107	111	113	
26年見通し	2,800	110	110	110	110	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷が中心となる。年内の出荷は干ばつの影響で少ないが、年明けは春系が出てくるので好転する見込み。ただこの寒さにより、例年よりは少ない見込みである。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年並みの見込み。</p>					
愛知からの入荷が中心となる。年内の出荷は干ばつの影響で少ないが、年明けは春系が出てくるので好転する見込み。ただこの寒さにより、例年よりは少ない見込みである。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年並みの見込み。							
ほうれんそう	21年	399	434	449	443	418	愛知 81% 群馬 4% 徳島 4%
	22年	378	509	533	506	497	
	23年	310	485	380	525	505	
	24年	333	553	714	542	515	
	25年	326	558	573	573	558	
	5ヵ年平均	349	505	529	514	495	
26年見通し	350	500	500	500	500	前年及び本年の入荷量・価格の動き	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知からの入荷が中心となる。1月上中旬は出荷量が少ないが、下旬になれば順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
愛知からの入荷が中心となる。1月上中旬は出荷量が少ないが、下旬になれば順調な出荷が見込まれる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							



東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	21年	12,889	54	53	52	58	茨城 83%
	22年	12,524	36	34	37	38	群馬 9%
	23年	12,397	48	50	47	49	兵庫 2%
	24年	13,250	56	48	52	64	埼玉 2%
	25年	13,772	72	77	76	66	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	12,966	54	52	53	55	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	13,000	65	70	65	60		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に続き茨城からの入荷が中心で、一部、群馬からの入荷も増えてくる。主体の茨城は台風の影響で玉伸びが鈍く、小玉傾向である。年明けもこの傾向は続見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高値で推移した前年をかなり下回る見込み。</p>					
		<p>ほうきの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は2月約12,000トンから12月約13,000トンまで変動し、1月は13,000トンと見込みです。単価は2月約75円/kgから12月約100円/kgまで変動し、1月は100円/kgと見込みです。</p>					
キャベツ	21年	13,314	111	103	116	112	愛知 70%
	22年	12,518	102	83	105	113	千葉 14%
	23年	12,623	104	85	106	113	神奈川 9%
	24年	13,391	129	136	130	123	茨城 4%
	25年	13,161	120	128	114	120	(愛知産比率 70%)
	5ヵ年平均	13,001	113	107	114	116	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	12,500	120	125	120	115		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知と千葉、神奈川からの入荷が中心となる。愛知の生育は台風の影響が残り若干小玉傾向。千葉、神奈川も低温の影響を受け肥大の停滞があり小玉傾向。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高値で推移した前年並となる見込み。</p>					
		<p>キャベツの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は2月約15,000トンから12月約14,000トンまで変動し、1月は12,500トンと見込みです。単価は2月約120円/kgから12月約150円/kgまで変動し、1月は150円/kgと見込みです。</p>					
ほうれんそう	21年	1,905	384	391	382	380	群馬 32%
	22年	1,721	507	551	491	490	茨城 21%
	23年	1,514	485	451	480	510	埼玉 19%
	24年	1,302	580	710	493	589	千葉 17%
	25年	1,522	574	620	577	546	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,593	498	545	485	503	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
26年見通し	1,500	550	600	550	500		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>関東産地からの入荷でほぼ全量を占める。各産地とも現況昨年同様、冷え込みでやや伸びが止まってきた状態。年明けはやや回復すると見込んでいるが少なめの出荷が予想される。 入荷量は平年を下回った前年並で、価格も高かった前年をやや下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそうの数量と単価の推移グラフ。数量は棒グラフ、単価は折線グラフで示されています。数量は2月約1,800トンから12月約1,500トンまで変動し、1月は1,500トンと見込みです。単価は2月約400円/kgから12月約600円/kgまで変動し、1月は600円/kgと見込みです。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	21年	1,126	340	390	329	314	静岡 21% 愛知 20% 大分 20% 群馬 10%
	22年	1,138	359	435	341	320	
	23年	1,012	387	439	370	377	
	24年	1,044	358	424	334	356	
	25年	986	361	456	348	324	
ねぎ	5ヵ年平均	1,061	360	428	344	337	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,000	360	410	350	320	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長ねぎは愛知からの入荷が中心。生育は順調であるが、やや病虫害がでている。白ねぎは鳥取、静岡、大分から入荷。生育は順調で、天候がよければ太ものの比率が上がり、2L、L中心の出荷になる。 入荷量、価格とも前年並みの見込み。</p>							
し	21年	1,516	276	308	256	268	兵庫 40% 愛知 17% 静岡 15% 熊本 12%
	22年	1,433	266	251	264	281	
	23年	1,163	243	184	233	298	
	24年	1,395	323	390	290	309	
	25年	1,309	437	454	409	432	
し	5ヵ年平均	1,363	309	320	290	316	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,300	350	350	350	350	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>兵庫、愛知、静岡、熊本等から入荷。どの産地も肥大が進んでおらず、年明けまで玉太りの良いものは出てこないが、1月中旬になれば増えてくる見込み。ただし天候次第では小玉のままである。 入荷量は前年並みで、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							
きゅう	21年	1,356	337	319	312	379	愛知 51% 宮崎 21% 高知 13% 鹿児島 13%
	22年	1,277	327	278	345	357	
	23年	1,226	334	166	233	276	
	24年	1,212	423	357	396	552	
	25年	1,190	448	515	482	384	
きゅう	5ヵ年平均	1,252	372	325	352	389	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,250	370	350	380	380	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知、西南暖地(宮崎、高知、鹿児島)から入荷。作柄的には弱っており、1月中旬以降の入荷量は減少する見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	21年	5,628	203	242	188	186	千葉 35%
	22年	5,164	269	319	260	242	埼玉 22%
	23年	5,097	257	305	247	241	茨城 15%
	24年	5,111	232	277	205	235	群馬 12%
	25年	4,984	283	330	288	247	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,197	248	295	238	230	
ぎ	26年見通し	5,100	250	260	250	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		千葉、埼玉を中心とする関東産地からの 入荷が中心となる。主力の千葉は、台風の 被害から回復し、埼玉など関東産地につい ての作柄は良好。 入荷量は前年をわずかに上回る見込み で、価格は高値基調が続いた前年をかなり 下回る見込み。					
し た ス	21年	7,250	274	299	258	266	静岡 36%
	22年	6,752	276	264	276	285	兵庫 14%
	23年	6,327	234	186	225	284	香川 9%
	24年	7,108	314	365	287	301	長崎 8%
	25年	5,668	434	478	411	417	(愛知産比率 5%)
	5ヵ年平均	6,621	303	318	291	311	
ス	26年見通し	6,000	300	320	300	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		前月に引き続き静岡、香川、兵庫からの 入荷が中心となる。冷え込みが早く、特に 西南暖地では、低温、曇天の影響を大きく 受け現況、絶対量が少ないが年明けは出荷 が増える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年 を大幅に下回る見込み。					
き ゆ う り	21年	5,455	365	345	347	402	宮崎 40%
	22年	5,463	345	310	361	363	千葉 19%
	23年	5,181	349	353	346	349	高知 19%
	24年	4,912	450	382	420	559	茨城 8%
	25年	4,834	481	554	428	397	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	5,169	395	389	380	414	
り	26年見通し	4,900	420	440	420	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地と関東産地からの入荷が中心と なる。各産地とも総じて樹に成り疲れがみ られ出荷も不安定となっている。この傾向 は年明けも続く。 入荷量は少なかった前年並を見込み、価 格は高値で推移した前年をかなり下回る見 込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な が す	21年	453	362	316	360	412	熊本 49%
	22年	448	331	256	354	393	愛知 49%
	23年	450	358	321	376	364	高知 3%
	24年	398	434	411	422	474	岐阜 0%
	25年	377	420	419	414	434	
	5カ年平均	425	378	340	383	413	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	400	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		千両なすは愛知、長なすは熊本からの入荷が中心となる。両産地とも花芽が多く、年明けに増加する見込み。年内の高値の影響もあり、厳寒期の販売は厳しくなるが、1月下旬には数量、価格とも回復する見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。					
ト マ ト	21年	859	331	329	334	329	熊本 46%
	22年	765	325	262	332	372	愛知 30%
	23年	891	308	339	323	272	三重 15%
	24年	833	382	400	368	390	岐阜 6%
	25年	990	340	365	340	327	
	5カ年平均	867	337	341	339	336	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	900	360	360	360	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		熊本、愛知、三重、岐阜等から入荷。各産地とも作況、玉つきが良いが、冷え込みによる着色不良で色づきが悪い。ハウスの中にあるため、玉太りは順調。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					
三 二 ト	21年	250	587	570	548	643	熊本 54%
	22年	268	643	567	634	725	愛知 31%
	23年	313	536	480	537	582	和歌山 10%
	24年	308	687	593	677	797	
	25年	382	563	538	545	582	
	5カ年平均	304	601	548	586	661	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	350	580	550	580	600	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		熊本、愛知、和歌山から入荷。量はあるので、着色加減でそこそこの数は出てくる。価格もそこまで高くない見込み。 入荷量は多かった前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	21年	1,996	415	367	414	467	高知 64%
	22年	1,907	406	299	449	479	福岡 17%
	23年	2,080	374	354	381	374	熊本 7%
	24年	1,874	488	523	446	501	佐賀 5%
	25年	1,822	434	391	428	461	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,936	422	373	424	456	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,800	430	450	430	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。高知は寒さと曇天の影響で出荷ペースが上がっていない。福岡は、今後の天候次第だが順調な出荷が期待できる。 入荷量、価格とも前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	21年	4,579	388	397	385	381	熊本 46%
	22年	4,581	362	293	373	417	愛知 17%
	23年	4,970	354	381	372	354	栃木 10%
	24年	4,628	437	462	420	428	宮崎 6%
	25年	5,222	370	384	367	360	(愛知産比率 17%)
	5ヵ年平均	4,796	382	383	384	388	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,900	400	430	400	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、栃木からの入荷が中心となる。全体では現況、低温、曇天、加温不足等で少なめの出荷となっているが、天候にもよるが年明けは順調な出荷が見込まれる。本県産は若干色回りの遅れがある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る。</p>					
ミ ニ ト マ ト	21年	1,041	586	574	550	634	熊本 38%
	22年	1,058	647	578	639	718	愛知 25%
	23年	1,279	492	446	481	545	宮崎 11%
	24年	1,183	687	602	656	814	千葉 10%
	25年	1,415	559	553	538	585	(愛知産比率 25%)
	5ヵ年平均	1,195	590	551	573	659	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,400	570	570	570	570	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>前月に引き続き熊本、愛知からの入荷が中心となる。気温が低く日射量も少なめであったため、ここまでやや遅れ気味であったが、1月に入れば平年並の出荷が期待できる。 入荷量は前年並を見込み、価格は前年をわずかに上回るが平年よりは安い見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	416	573	475	586	673	宮崎 44% 鹿児島 42% 高知 14%
	22年	359	638	475	702	714	
	23年	441	490	321	493	619	
	24年	396	602	527	576	761	
	25年	339	774	724	759	794	
マン	5カ年平均	390	607	494	614	707	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	390	620	500	600	770	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		西南暖地(宮崎、鹿児島、高知)から入荷。出荷量は冷え込みにより、1月中旬以降は少し減少する見込み。ただ生育は順調であるので、価格は安定して推移する見込み。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。					
ばいしょ	21年	2,964	97	97	100	94	北海道 53% 長崎 36% 鹿児島 10%
	22年	2,586	128	128	131	125	
	23年	2,686	137	141	139	135	
	24年	2,967	108	105	110	108	
	25年	2,788	96	94	98	95	
いしょ	5カ年平均	2,798	113	112	115	111	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,900	110	110	110	110	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		北海道の貯蔵ものと、長崎の秋じゃがいもと抑制ものが入荷。北海道からは計画的に安定して出荷される。長崎の秋じゃがいもは小玉で、抑制ものは順調である。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					
たまねぎ	21年	5,040	72	68	72	75	北海道 98% 静岡 1% 中国 1% 兵庫 0%
	22年	4,460	106	105	109	104	
	23年	4,350	119	107	132	114	
	24年	4,772	87	92	88	90	
	25年	5,477	78	79	82	84	
ねぎ	5カ年平均	4,820	91	89	95	92	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,200	125	125	125	125	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		ほぼ北海道からの入荷となり、他には輸入ものが入荷。北海道は倉庫入れが終了し、今後は計画的に出荷される。小玉傾向であり、アメリカものも不作で、高値の販売となる見込み。 入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	21年	1,291	624	505	637	725	宮崎 47%
	22年	1,251	661	510	750	697	高知 22%
	23年	1,306	527	345	549	638	鹿児島 16%
	24年	1,218	635	549	607	751	茨城 14%
	25年	1,149	773	744	783	777	(愛知産比率 -%)
マン	5カ年平均	1,243	641	531	665	718	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	1,150	640	640	640	640	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>西南暖地からの入荷が中心となる。各産地とも低温等天候不順の影響を受け、やや不作傾向が続いており、年明けもこの傾向は変わらない。 入荷量は少なかった前年並を見込み、価格は高騰した前年を大幅に下回るものの平年並の見込み。</p>					
ばれいしょ	21年	8,207	106	106	107	106	北海道 61%
	22年	7,524	138	135	139	138	長崎 30%
	23年	7,814	145	146	145	144	鹿児島 8%
	24年	8,559	112	112	110	114	
	25年	8,137	101	104	102	99	(愛知産比率 -%)
いしょ	5カ年平均	8,048	120	121	121	120	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	8,100	105	105	105	105	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、長崎からの入荷が中心となる。北海道は貯蔵物が主力となり、市況に応じた計画出荷となる。長崎は少なめ、鹿児島は平年並の出荷が期待できる。 全体の入荷量は前年並を見込み、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
たまねぎ	21年	9,596	78	77	76	80	北海道 95%
	22年	8,145	127	121	123	135	中国 2%
	23年	7,530	143	136	144	145	静岡 2%
	24年	8,925	95	96	93	96	
	25年	8,676	84	80	83	88	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5カ年平均	8,574	103	102	104	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	7,800	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道中心の入荷が続く。北海道全域で作柄は不良で、小玉傾向、貯蔵量も少ない。静岡の新物も年明け初荷から始まるが例年通りの出荷となる。 入荷量は、前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	21年	10,486	316	357	299	300	静岡 18%
	22年	9,777	283	307	268	281	フィリピン 17%
	23年	8,970	350	379	340	345	青森 17%
	24年	8,847	352	390	329	352	愛知 16%
	25年	8,392	334	405	315	313	
	5ヵ年平均	9,294	326	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	7,800	350	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、青森、愛知。みかん、りんご、いちごなどが入荷。りんごは青森の下級果が年内に前倒しで出荷されるため、年明けの数は少なくなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
み か ん	21年	2,953	249	258	244	245	静岡 58%
	22年	2,789	163	172	152	164	愛知 28%
	23年	2,333	304	280	305	320	和歌山 9%
	24年	2,777	224	239	222	217	三重 1%
	25年	2,555	205	226	193	199	
	5ヵ年平均	2,681	227	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	2,300	230	240	230	220	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は静岡、愛知、和歌山。台風の影響により、着果が少なく玉が大き。不作の年であり、年末から年明けにかけて、特に数が少なくなる見込み。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
い ち ご	21年	1,010	1,064	1,163	910	1,092	愛知 50%
	22年	890	1,054	1,141	996	1,033	熊本 25%
	23年	794	1,225	1,343	1,187	1,173	三重 8%
	24年	732	1,338	1,430	1,217	1,369	鹿児島 8%
	25年	869	1,175	1,427	1,062	1,069	
	5ヵ年平均	859	1,161	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	800	1,250	1,400	1,200	1,100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>主な産地は愛知、熊本。九州の作付け面積は減少している。2番果の出来が良くなく、年明けからしばらくは端境期のため少ない。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	21年	42,156	339	382	320	323	静岡 18%
	22年	43,037	297	340	278	289	愛媛 14%
	23年	36,153	394	436	370	386	青森 14%
	24年	38,790	355	416	334	337	フィリピン 8%
	25年	34,699	369	454	350	338	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	38,967	344	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	33,700	390	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん中心にりんご、いちごなどが入荷する。中旬以降は「不知火」などの中晩柑がこれに加わる。みかんは堅調な販売が続く。りんごは晩生種になって不作傾向となっており小ぶりであるが、品質は良好である。全体の入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
みかん	21年	15,641	235	235	232	239	静岡 43%
	22年	17,234	165	171	159	167	愛媛 15%
	23年	12,837	310	285	306	328	和歌山 14%
	24年	17,070	234	241	233	229	長崎 13%
	25年	13,686	221	244	216	212	(愛知産比率 1%)
	5ヵ年平均	15,294	229	232	225	231	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	13,500	250	260	250	240	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「普通みかん」主力となり、静岡、和歌山、長崎、愛媛などから入荷する。全体的に出始めから味も良好。静岡の「青島」は2L、Lサイズが7割を占め、理想的な玉流れとなっている。長崎は「伊木力系」「青島」が中心。入荷量は前年並みで、価格は前年をかなり上回ると見込まれる。</p>					
いちご	21年	4,280	1,127	1,189	1,041	1,163	栃木 38%
	22年	4,401	1,053	1,121	1,019	1,020	福岡 21%
	23年	4,017	1,157	1,206	1,130	1,141	茨城 11%
	24年	3,305	1,282	1,341	1,166	1,335	佐賀 9%
	25年	4,163	1,192	1,345	1,125	1,111	(愛知産比率 2%)
	5ヵ年平均	4,033	1,156	1,235	1,092	1,145	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	26年見通し	4,000	1,200	1,350	1,250	1,150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>栃木中心に、福岡、茨城、静岡から入荷する。当初は生育が前進して進んでいたが、12月に入って低温となり落ち着いてきた。年末年始は谷間に入り一時的に品薄になりそうだが、中旬以降徐々に回復してくる見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みと見込まれる。</p>					

切花・鉢花の1月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 12月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実 績	21年	2,351	57	
		22年	2,120	59	
		23年	1,706	56	
		24年	1,857	47	
		25年	1,587	59	
	5ヶ年平均		1,924	56	
	26年見通し		1,600	56	
概要	<p>愛知、三重、沖縄等から入荷。作付けも多くなき、天候不順により上位等級の発生率も低下しているため、入荷少なめか。業務の動きにもよるが堅調な動きとなる。</p>				
小 ぎ く	実 績	21年	1,130	29	
		22年	1,047	30	
		23年	749	37	
		24年	987	25	
		25年	949	32	
	5ヶ年平均		972	30	
	26年見通し		970	30	
概要	<p>沖縄中心の入荷。年末の出荷も順調であったことから年越しは少なく、前半は少なめか。動きも悪くなるため、入荷量によっては重い相場も考えられる。</p>				
カ ー ネ ー シ ョ ン	実 績	21年	980	38	
		22年	939	35	
		23年	963	35	
		24年	953	37	
		25年	914	38	
	5ヶ年平均		950	36	
	26年見通し		915	38	
概要	<p>愛知を中心に和歌山、長野から入荷。10月の高温により全体に前進傾向であり、12月は例年になく上位等級の割合が上がったが、スプレーについてはコロンビア産の入荷減少で、そこそこの動きとなった。1月は寒さと燃油の高騰で少なめで推移し、相場安定と見込まれる。</p>				
か す み そ う	実 績	21年	176	69	
		22年	154	83	
		23年	132	85	
		24年	148	80	
		25年	143	75	
	5ヶ年平均		151	78	
	26年見通し		160	70	
概要	<p>高知、和歌山、熊本から入荷。年末出荷の遅れから、前半は昨年以上の入荷となる。業務中心の動きで販売は厳しい。</p>				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	21年	263	198	
		22年	250	186	
		23年	278	188	
		24年	271	196	
		25年	274	163	
	5ヶ年平均		267	186	
	26年見通し		275	165	
概要	OHは高知、埼玉、愛知などから入荷。昨年と違い年末までに出荷した生産者が多く、入荷は少なめ。LA、鉄砲も同様に少ない。業務中心の販売となるため、相場は品質によりバラバラ。前半は安めの流れで中旬以降相場も戻ってくるだろう。				
洋らん	実績	21年	329	93	
		22年	352	79	
		23年	452	71	
		24年	486	73	
		25年	424	75	
	5ヶ年平均		409	77	
	26年見通し		450	72	
概要	高知、徳島、愛知、静岡などに加え、輸入物が入荷。12月の低温で年内出荷予定に遅れがあり、胡蝶蘭、シンビジウム等は昨年よりも増加が見込まれる。価格は弱含みの展開となると思われる。				
ばら	実績	21年	711	77	
		22年	666	76	
		23年	665	75	
		24年	636	76	
		25年	677	74	
	5ヶ年平均		671	76	
	26年見通し		680	76	
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山から入荷。入荷量は前年並みの見込みで、前半は成人式等の需要もあり、堅調な動きとなろう。				
枝も	実績	21年	1,269	49	
		22年	1,095	48	
		23年	1,501	42	
		24年	1,411	42	
		25年	1,414	41	
	5ヶ年平均		1,338	44	
	26年見通し		1,450	42	
概要	長野中心とした促成物の桜、雪柳、ボケが入荷。浜松からはコデマリの出荷が始まる。成人式需要で花物は動きそうだが、後半は需要も少なく、鈍化しそう。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
工 鉢	実績	21年	38,496	239	
		22年	30,582	211	
		23年	31,377	213	
		24年	32,586	201	
		25年	24,267	192	
	5ヶ年平均		31,462	213	
	26年見通し		24,000	190	
概要	<p>入荷量は昨年より種類が少なく、大半は白花系となり、やや減少か。4～5号は減少気味だが3～3.5号のポット物が増えつつある。生産量としては昨年並み。上旬はそれなりに引合いはあるが、中旬～下旬には単価的に厳しくなることが予想される。</p> <p>昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位山梨県(30.9%)、2位新潟県(27.9%)、3位長野県(26.6%)となっている。</p>				
プ 鉢	実績	21年	532,685	105	
		22年	502,370	94	
		23年	446,659	115	
		24年	429,103	113	
		25年	568,297	99	
	5ヶ年平均		495,823	104	
	26年見通し		560,000	91	
概要	<p>入荷量は減少か。特にジュリアンは苗の出来が悪く減少となる見込み。ハツコイなどの品種物は苗が入らず大幅減を予想。</p> <p>昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(42.7%)、2位埼玉県(12.5%)、3位三重県(9.5%)となっている。</p>				
チュ ー 鉢	実績	21年	100,660	150	
		22年	103,278	162	
		23年	79,148	185	
		24年	78,074	189	
		25年	64,454	194	
	5ヶ年平均		85,123	173	
	26年見通し		66,000	194	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。主に4号、5号が中心となる。高単価の6号以上は年々厳しくなってきた。品種別にみると、赤、黄、ピンクが中心になる。</p> <p>昨年1月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(51.6%)、2位埼玉県(23.5%)、3位長野県(8.8%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
サイネリア	実績	21年	65,192	265	
		22年	44,920	314	
		23年	57,264	267	
		24年	44,843	295	
		25年	49,580	301	
	5ヶ年平均		52,360	286	
	26年見通し		49,000	308	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。単価面では配色の濃い色が多いと敬遠されやすいため、優しい色目も入れていただけるようお願いしたい。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位埼玉県（26.7%）、2位愛知県（19.7%）、3位和歌山県（8.4%）となっている。</p>				
マーガレット	実績	21年	36,732	183	
		22年	37,578	193	
		23年	39,445	179	
		24年	45,641	193	
		25年	48,306	187	
	5ヶ年平均		41,540	187	
	26年見通し		49,000	179	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。中旬から下旬にかけて増加傾向となる見通し。この時期に色幅のある花鉢が少ないため、相場は安定か。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜県（33.5%）、2位愛知県（32.7%）、3位静岡県（12.6%）となっている。</p>				
デンドロビウム	実績	21年	23,737	771	
		22年	19,072	1,066	
		23年	23,830	711	
		24年	20,218	775	
		25年	35,479	513	
	5ヶ年平均		24,467	731	
	26年見通し		34,000	941	
概要	<p>入荷量は前半が前年と同じか、多少多いと思われる。中旬から下旬は出荷量が少なくなるので、ツボミ出荷で良いので出荷していただきたい。2月より出荷量は増えてくる見込み。花屋さんの希望として、シーズン通してのツボミ出荷をお願いしたい。 昨年1月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（62.0%）、2位岡山県（8.1%）、3位静岡県（6.7%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2013年)

1 輸入実績

品名	10月						10月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	67,027	114.5	9,095,080	113.2	136	98.9	635,451	86	77,431,013	67	122	78
トマト	1,030	149.9	449,340	191.7	436	127.9	6,926	141	2,632,421	160	380	114
たまねぎ	36,877	143.4	1,700,959	130.9	46	91.3	234,587	79	13,255,106	110	57	139
にんにく	1,545	96.6	232,246	78.5	150	81.2	15,482	92	2,925,924	115	189	126
ねぎ	4,964	109.1	598,751	138.6	121	127.0	45,262	105	5,089,940	102	112	97
ブロッコリー	2,173	45.7	545,729	70.8	251	154.9	31,598	73	6,235,824	98	197	133
結球キャベツ	1,054	284.3	40,018	331.1	38	116.5	21,955	68	842,770	71	38	105
にんじん・かぶ	6,545	91.5	349,053	114.6	53	125.2	66,147	91	3,651,317	107	55	118
ごぼう	4,581	86.6	350,842	177.7	77	205.1	32,157	80	1,876,299	93	58	116
えんどう	106	61.0	40,653	66.7	383	109.4	1,531	68	542,255	69	354	102
アスパラガス	1,220	87.4	825,261	90.5	677	103.6	9,075	70	5,301,840	88	584	125
まつたけ	330	107.4	1,887,672	106.6	5,728	99.3	1,108	88	5,375,658	105	4,853	120
しいたけ	338	104.9	131,956	132.0	390	125.9	2,633	83	929,531	88	353	107
かぼちゃ	882	64.3	61,419	71.4	70	111.0	87,283	86	6,665,903	100	76	116
果実(生鮮・乾燥)	139,523	97.1	20,000,555	119.3	143	122.8	1,530,417	92	219,035,598	111	143	121
バナナ	89,332	94.8	6,947,204	117.2	78	123.7	829,058	89	68,348,471	112	82	125
パイナップル	14,800	108.1	998,511	115.6	67	106.9	151,103	104	9,397,393	108	62	104
レモン	3,120	107.3	585,365	170.2	188	158.6	41,608	90	5,818,494	117	140	130
オレンジ	6,355	107.9	696,150	119.1	110	110.4	104,600	86	11,525,448	99	110	115
グレープフルーツ	1,010	72.8	87,882	59.8	87	82.1	112,008	86	10,822,536	95	97	110
メロン	1,992	76.3	201,741	93.9	101	123.0	28,990	112	3,028,540	117	104	105
ぶどう	1,734	95.3	544,029	116.5	314	122.3	17,040	100	4,212,312	118	247	117
キウイ	2,649	104.3	717,864	70.6	271	67.8	55,336	93	17,438,349	87	315	94
いちご	761	98.6	732,851	113.1	962	114.7	2,999	105	2,871,793	123	958	117
切花(生鮮・乾燥)	3,569	88.9	3,022,966	103.9	847	116.9	37,909	100	30,169,637	107	796	108
鳥獣肉類	157,058	96.2	73,489,636	103.2	468	107.3	1,493,169	98	704,756,332	107	472	109
牛肉(くず肉含む)	45,385	96.3	22,348,372	110.2	492	114.4	447,378	102	222,512,790	120	497	117
豚肉(くず肉含む)	66,785	90.7	35,325,330	91.4	529	100.8	613,562	94	323,651,507	94	527	101
鶏肉	35,880	102.2	8,679,272	119.8	242	117.2	344,535	97	92,223,317	116	268	119
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	149,679	94.9	100,616,974	108.2	672	114.0	1,386,053	91	842,170,325	98	608	108
まぐろ類	20,159	93.5	15,393,894	99.4	764	106.3	171,359	93	141,823,961	91	828	98
さば・さんま・あじ・いわし	3,284	111.8	793,267	124.8	242	111.7	47,968	78	9,421,144	80	196	102

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	4,304	114.8	1,261,244	115.6	293	100.7	15,131	192	6,132,450	176	405	92
うんしゅうみかん	1,206	117.0	150,168	150.5	124	128.7	1,391	120	268,828	147	193	123
りんご	2,032	112.9	673,903	115.8	332	102.6	9,839	255	3,336,187	221	339	87
なし	74	90.2	40,428	97.3	547	107.9	1,110	122	540,437	124	487	102
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	363,382	160.3	-	-	-	-	2,491,653	124	-	-
緑茶	273	100.7	599,619	116.7	2,195	115.9	2,338	121	5,333,858	130	2,282	107

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

年 月		消費者物価指数				
		総 合	生 鮮 野 菜	生 鮮 果 物	肉 類	魚 介 類
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 6月	99.8	85.7	103.4	98.4	99.9
	7月	100.0	94.1	98.1	99.2	101.6
	8月	100.3	92.3	101.5	99.5	103.3
	9月	100.6	102.9	94.6	100.0	107.9
	10月	100.7	103.3	92.5	100.3	105.0
	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
愛 知 県	25年 6月	99.7	90.0	100.7	99.1	101.5
	7月	100.0	99.3	98.4	100.2	105.9
	8月	100.3	94.7	106.1	99.4	104.8
	9月	100.5	104.2	98.3	99.5	109.0
	10月	100.5	107.1	93.0	100.3	105.2

年 月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物 総 合	米	野 菜	果 実	畜産物
全 国	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	25年 6月	97.4	113.5	88.5	99.4	105.5
	7月	102.4	113.3	98.3	102.0	108.2
	8月	97.1	111.9	82.4	91.3	108.8
	9月	102.9	106.0	107.8	78.8	110.2
	10月	96.2	102.7	91.9	71.7	110.6
	22年平均	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
愛 知 県	25年 6月	99.7	90.0	100.7	99.1	101.5
	7月	100.0	99.3	98.4	100.2	105.9
	8月	100.3	94.7	106.1	99.4	104.8
	9月	100.5	104.2	98.3	99.5	109.0
	10月	100.5	107.1	93.0	100.3	105.2

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)														
年 月	品目 単位	うるち 米 (単一品種、 「コシ加」 以外)	キ ャ ベ ツ	は く さ い	ね ぎ	レ タ ス	ば れ い し ょ	だ い こ ん	に ん じ ん	た ま ね ぎ	き ゆ う り	ト マ ト	生 し い た け	りん ご (ふ じ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg	
24年平均		2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年	6月	2,158	124	170	645	284	282	133	363	209	470	496	155	544
	7月	2,230	80	131	616	362	247	157	322	214	473	708	187	
	8月	2,158	130	231	746	343	330	158	394	222	454	577	161	
	9月	2,123	140	217	664	459	378	190	361	251	639	656	161	
	10月	2,131	168	201	608	479	324	209	365	256	622	776	164	
年 月	品目 単位	み か ん	グ レ イ プ フ ル ー ツ	オ レ ン ジ	い ち ご	パ ナ ナ	キ ウ イ フ ル ー ツ	緑 茶 (せん 茶)	カ ー ネ ー シ ョ ン	き く	パ ラ	豚 肉 (ロ ー ス)	牛 肉 (ロ ー ス)	ま ぐ ろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g						
24年平均		582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年	6月		304	387		210	781	557	141	167	311	223	742	409
	7月	513	286	340		209	781	516	148	161	297	213	804	375
	8月		273	358		211	771	559	167	181	307	223	754	421
	9月	638	262	385		204	803	557	162	171	316	229	808	420
	10月	485	267	356		217	781	557	156	171	312	233	812	397

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 487
平成26年1月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421